

こんにちは。

私たちは、労働組合や女性・中小業者・農民・青年・弁護士・医療団体などが力をあわせて、憲法を守り生かそうと活動する「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。

私たちは思想信条を超えて多くの人たちと手をつなぎ、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす署名」を広げています。この署名に3,000万人のみなさんにご協力いただき、安倍政権による改憲の動きにストップをかけたいと願っています。ぜひ足を止めて署名にご協力ください。

みなさん。いま臨時国会が開かれています。大変大事な国会です。日本が二度と戦争しないと世界に誓った憲法9条を守り生かすのか、それとも9条を変えて海外で戦争する国へいっそう突き進むのか。安倍首相は、今国会に9条を変える自民党の改憲案を提案すると宣言しています。所信表明の演説では、国会議員に向かって改憲論議を活発にするようけしかけました。いったい安倍首相は、自分の立場をわきまえているのでしょうか。かりに憲法を変えるにしても、それを国民に提案できるのは、国会だけです。総理大臣や閣僚は、憲法99条で憲法を守るよう義務付けられています。日本が憲法にもとづいて政治を行う民主主義の国である以上、当然のことです。

ところが安倍首相は、憲法を守らなければならない義務を平気で無視し、「改憲発言」を繰り返しています。まるで、国会議員に改憲を命令するような口ぶりです。これは明らかな憲法99条違反です。総理大臣を憲法より上に置き、憲法に縛られずに勝手に振る舞う、独裁者にも通じる危険な考え方です。とうてい許されることではありません。

みなさん。このように憲法を理解せず、憲法を守らない安倍首相に、憲法を語る資格などありません。首相の資格もありません。私たちは、改憲の中身以前の話として、安倍首相の憲法違反のやり方をとことん追及し、首相が辞めるまで追い詰めたと思います。

共同通信の世論調査(9/20・21)では、この臨時国会への自民党改憲案提出に「反対」が51.0%で、「賛成」の35.7%を大きく上回っています。また、どの世論調査でも、国民が政治に求めているのは、社会保障(年金・医療)と景気対策であり、「改憲」など望んでいません。安倍首相が「改憲」に前のめりになればなるほど、国民世論から孤立するばかりです。

地震、豪雨、台風と自然災害が続く中、安心・安全、命と暮らしを守る政治こそ求められています。憲法25条は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障しています。事故や災害、いろいろあっても、安心して生きられる、憲法25条が生かされる社会が求められています。憲法を変えるのではなく、憲法を生かす政治の実現が求められています。今の日本で求められているのは、過去最高額を更新し続ける軍事予算ではなく、防災予算の増額ではないでしょうか。

みなさん。安倍首相は、いま8%の消費税を来年10月から10%に増税するとも明言しています。だいたい、あの森友疑惑で公文書の改ざんを重ね、それを指揮したという幹部に、国民から税金を徴収する国税庁長官まで任せた財務省、麻生大臣がその責任を取らずにいまだに居座る財務省に、消費税増税を口にする資格があるのでしょうか。とんでもない話です。しかも、「社会保障を充実させるための増税」といいながら、安倍政権は、医療も介護も年金も削りに削ろうとしています。

災害防止にも社会保障にも冷たい安倍政権。もし消費税増税を許せば、いっそう軍事費を増やすのに使われるのは、目に見えているではありませんか。

現に、自衛隊が米軍と一体となって行動できるように、敵地攻撃能力をもつ兵器をアメリカから購入

すると言って、来年度軍事費の概算要求は5兆3000億円と過去最高になりました。陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」や、最新鋭ステルス戦闘機F35Aなど、高額な米国製の最新兵器を大量に購入し、米国とともに世界で戦争する準備を着々と進めています。さらに、いま、政府は過激組織ISが活動するシナイ半島に展開する「多国籍軍監視団」への自衛隊派兵を検討しています。国連とは何の関係もない実力部隊に自衛隊を参加させようというのです。

これまでの「専守防衛の自衛隊」ではなく、「海外の戦闘地域で武力行使する自衛隊」に変え、その「海外で戦争する自衛隊」の存在を憲法9条に書き込むことで、日本を「戦争する国」にするのが、安倍「9条改憲」のねらいにほかなりません。自衛隊を「戦争する自衛隊」にしてよいのでしょうか。自衛隊員を「殺し殺される」戦闘地域に派遣してよいのでしょうか。憲法9条改悪を許さず、憲法9条があるからこそ保たれてきた日本の「戦後」を、いつまでも続けようではありませんか。

安倍首相は、「北朝鮮の脅威」を根拠に、軍備拡大をすすめ、改憲を主張してきました。でも、いま、安倍首相の改憲の根拠そのものがなくなりつつあります。

4月と9月の南北首脳会談、6月の米朝首脳会談に続き、近いうちに2度目の米朝首脳会談が行われるといいます。朝鮮半島の非核化と平和に向けた動きがすすんでいます。南北間で「一切の敵対行為を全面中止」し、「いかなる場合にも武力を使用」しないことも確約し、実際にその具体化がすすんでいます。いま、朝鮮半島の平和のプロセスを後押しする外交、憲法9条にもとづく平和外交こそ、日本政府に求められているのではないのでしょうか。「北朝鮮の脅威」がなくなっているのに「9条改憲」にしがみつき、軍備増強に暴走する安倍政権は、世界の流れからも孤立してしまうのではないのでしょうか。

改憲へ暴走する安倍政権にストップをかけるために、大きな力を発揮しているのが、今、お願いしている「安倍9条改憲NO！憲法を生かす3000万人署名」です。いま、この3000万人署名は全国で広がっています。あなたの「戦争はイヤだ」「平和が何より」という声を、この署名にお寄せください。

9月の沖縄知事選では、故翁長雄志知事の遺志を継いで辺野古に新基地をつくらせないと公約した玉城デニーさんが当選し、新知事になりました。保守・革新の違いを超えた沖縄の市民と野党の共闘が力を発揮した勝利です。この沖縄県民の勝利に続き、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」で、私たち市民・国民の声を示しましょう。「3000万人署名」にご協力をよろしくお願いします。